



▼感動しました。心を揺さぶられました。そして弱っていた心に元気をいただきました。ありがとうございます。

【五〇代】

(女性)

▼スツピンから舞台メイクへと、一人の女性が女優へと変わっていく時間にワクワクしました。プロを見ました。

(女性)

▼みんな色々な思いで過ごしているけれど、その中で楽し

く前向きな気持ち忘れずにいれば、良い事もあると思えるお芝居でした。

(女性)

【六〇代】

▼「生のピアノ」良かった。なつきさんの物腰はさすが宝塚。悟美さんはベテランの芝居で物語へ引き込んでくれた。願わくば、もう少しMUSICALを聴きたかったな。

(男性)

▼すみちゃんとかずえちゃんの会話で、「すみちゃん」「かずえちゃん」が少々うるさく感じました。大ちゃんのピアノがよかったです。

(女性)

▼アラ還二人の元気に圧倒されました。人生の疲れがジワリと出てくる年代ですから、カラ元気な所もあるでしょう。しかし、ネットで一躍有名になるとは！人生何があるか分からない。悲観せず、張り切り過ぎず歩んで行こうと思う。

(男性)

▼この作品を観てすぐに思い浮かべたのが、劇団青年座の「横濱短篇ホテル」。自分の人生の過去を振り返りこれからの行くすえを考えるとこの点が似ている。出来栄は、「横濱短篇ホテル」に軍配が上がるが、旺さん・阿知波さんの歌と演技が良かったし、等身大のテーマも入り込みやすかった。しかし、あの前振りはいかがなものか。全体的に芝居というよりはバラエティ・ショーを観ているような印象で、内容的にはちよつと薄っぺらな感じがした。年間ラインナップの中には、いろいろとバラエティーに富んだものがあつた方がもちろん良いと思うが、果たしてこの作品は、年間六本の内の一本に組み込んでいいものなのかどうか疑問に感じた。それは、

昨年「しあわせの雨傘」も同様だと思う。

(男性)

▼親しき仲十女同士。触れては×な事。気遣いと誤解と深い共感。互いに向き合い隣り合うのって難しいけど素敵。

(女性)

▼こんな作品をやっているようでは、鑑賞会がダメになるのではないか。

(女性)

▼久々のミュージカル、旺さん・阿知波さん素敵でした。やっぱり生の舞台は最高。特に前の方の席で満喫しました。

(女性)

▼シニア女性への応援の芝居でした。その場でそのままに咲きなさい」と感じました。

(女性)





▼前説のようなものを行った理由が全く理解できません。サーピス精神なのでしょう。私は芝居に向き合う気力が失せてしまいました。地元ネタをなぜ使うのですか(嫌悪感)。観客に媚びる必要はないのです。芝居に全精力を注ぎ込んで欲しい。旭川でしか芝居を観る条件がない私にとって、市民劇場の例会一本一本がとても大切なのです。(男性)

【七〇代】

▼阿知波さんの声量に感激!! 旺さんも素晴らしい!! はじめ

てのこと。がこれからどんな形で表れるのでしょうか? 老化、ボケ、さて何が待っているのか!! (女性)

▼旺さんと阿知波さんのハイモニターに魅了されました。互いに相手を思いやり生きる姿に感動! 私もかく生きたい。(男性)

▼期待せずに、ところがところがピアニストの腕の動きにひき込まれ、全体の「」はピアノに注目。旺さんの唱い方、身のこなし、宝塚が今でも残っていて驚き。阿知波さんも軽やか。楽しみました。(女性)

▼二人の女優さんの歌とせりふに元気をいただきました。大変身の二人の熱唱は素晴らしいかったです。ありがとうございます。(女性)

▼題名の「」何かの略と思いましたが、オールドガールズとは考えなかつた。後半の華やかな舞台を久々に見て少々

興奮気味の私でした。劇中のセリフ「すべてに初めてがある」に納得。ミラクル・ミラクルで二人は大スターになったのでしょうか? 旭川市民劇場にもミラクルが起き、沢山の会員が増えればと思いいながら見ていました。(女性)

▼すばらしいショータイムでした。希望の唄をありがとうございます。ございました。(女性)

▼キャバレー初体験! ミラクルは何? どきどきして歌に聴きほれ、若い脚本家のオチになるほどネ。「エーオ!」(by Queen)

【年代性別不明】

▼ラストをあれほど華々しくする必要はあるだろうか。最初からどう見ても元気な二人だし。前半でわずかに感じた演劇性が吹きとんでとても残念。

▼温泉宿をまわる何とか一座

の公演? むしろそちらのほうが見ごたえがあるかも。「私たち得意なことをやりまうす」的な舞台。心を打つものは何も無く、「松尾ジンギスカン」なる人が前説とは言えないことをやり、着替えの時間稼ぎをやり、上演時間は予定より30分も長かったことに啞然。

これなら常盤礼子一座を見たかったなあ(知る人ぞ知る!)。こういう舞台(作品とはいいたくない)が毎年入ってくるようなら、鑑賞会は危機的状況に陥ってしまう! 私たちの臭覚は衰えてないよ! だって良い作品に出会ってきたのだから! 六月例会でリセット!

編集スタッフから

五〇字劇評例会のたびに発行しています。いつも色々な感想に感心しています。芝居は生ものです。だからこそすぐ投稿を、紙面で交流しませんか。初めての方大歓迎です。(二番簡単投稿は事務所にフックスで23-1645)